

令和4年度 第1回学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和4年8月29日(月) 17:00~19:00

2 場 所 高知県立宿毛工業高等学校 会議室

3 参加者

(1) 協議会委員

武政 登:(大方あかつき館・館長(宿毛工業同窓会長)) 上岡 千夏:(宿毛工業PTA会長)

安岡 未佳:(宿毛工業PTA役員) 当日欠席 大塚 猛:(宿毛工業PTA役員)

八木 渚:(宿毛工業スクールカウンセラー) 中福 智子:宿毛市役所 企画課

北峯 和永:(宿毛市立東中学校・教諭)

兼松 尚子:(四万十市立中村西中学校・教頭) 当日欠席

久保 康次:宿毛市青年会議所・理事長 当日欠席

(2) 宿毛工業高校教職員

中野 達也(校長) 西山 太彩(教頭) 岡本 真紀(事務長)

森 裕嗣(教務部長) 小橋 竜二(生徒指導部長) 畠中 晶代(進路指導部長)

池内 孝栄(生徒サポート部長) 山崎 桂(総務部長)

吉岡 利泰(総務部・議事録) 筒井 尚樹(総務部・議事録)

4 次第及び記録

(1) 【開会】(西山教頭):開会宣言、配付資料確認。

(2) 【校長挨拶】(中野校長):会の発足経緯、主旨説明。学校の状況について、新型コロナウイルスの影響等を述べる。

(3) 【辞令交付】(西山教頭):辞令書類を確認して頂き、委員一人ずつ名前を読み上げ立礼により挨拶。

(4) 【自己紹介】(西山教頭):武政(同窓会長)・上岡(PTA会長)・大塚(PTA役員)・八木(宿毛工業SC)・中福(宿毛市企画課)・北峯(東中教諭)・中野(学校長)・岡本(事務長)・西山(教頭)・森(教務部長)・小橋(生徒指導部長)・畠中(進路指導部長)・池内(生徒サポート部長)・山崎(総務部長)・吉岡(総務部)・筒井(総務部)の順で自己紹介。

(5) 【会長・副会長の選出】(西山教頭)

立候補、推薦を促す。立候補無しのため、事務局より会長に武政登氏、副会長に上岡千夏氏を推薦。一同拍手により承認される。

会長、副会長がそれぞれ席を移動し、就任挨拶。

(6) 【議事:一部抜粋】

ア 令和4年度 学校経営計画について(説明:中野校長)

宿毛工業としての目指す学校像(大前提として)「就職して、しっかり働ける人づくり。進学して、しっかり学べる人づくり」を目指す。そのうえで目指す生徒像が「主体性を持って希望進路を実現していく生徒」であり、具体的に「学ぶ」:勉強だけでなく、本校では実習も含ま

れる。「行動する」：思春期の生徒を預かるが、現状これとはという問題は起きていない。正しい判断のできる生徒に。「繋がる」：いろんな人の相手の個性や性格、人格を認めあえることで人とつながる生徒。

学校として目標を実現するための取組。下の①から⑦についての説明。

- ①基礎学力の定着と学力の向上
- ②生徒指導・進路指導の充実
- ③豊かな心を育む教育の推進
- ④ICT 機器を活用した教育活動の推進
- ⑤資格取得の推進
- ⑥ものづくりを通して技術・技能の習得
- ⑦部活動の振興 体育クラブ 13、文化クラブ 11 を設置

イ 質疑応答 1

【委員】 生徒の現状について強みの行事に全力で取り組む・部活動や資格取得に積極的と弱みの部分のコミュニケーション能力が弱い・向上心が少ないについて、矛盾しているように感じるがどうか。

【学校】 弱みについて、再度説明①学習習慣が身につけていない（家庭学習が弱い）②受け身の生徒が多い③コミュニケーション能力が弱い（対大人に対して積極性が弱い、面接練習等）④向上心が少ない

【委員】 自身の子供について、確かに決められたことはちゃんとやっているが、自分から積極的というか欲が無いように見えるのでそういうことだろうと見える。

【委員】 小さいバイクの事とは？

【学校】 原付バイクの通学を許可しているが、年間の違反件数は数年前までの3桁から現在は年間50件以内を目標にして取り組んでいる。

【委員】 この学校は私が通っている当時交通インフラに恵まれていない状況であった。現在は列車もバスもあると思うが、やはり交通違反がないようにすることが大切であろう。朝早くでることなど工夫が必要であるが、どうしても地理的環境から増える傾向はあるだろう。

【委員】 事故はどうですか？

【学校】 1学期にも大きな事故はあった。注意喚起は継続的に必要。自転車のヘルメット着用なども話は出てきている。

【委員】 交通事故は予期せぬ出来事。若い時に亡くなった友人もありその悲しみははかりしれない。

【学校】 最終的にはもちろん0にしたいが減らしていくことを目標に考える。

ウ 重点項目【学力の向上】と【社会性の育成】について（説明：中野校長）

【学力の向上】

基礎力診断テストにおける数値化した目標 D3層 10%以下、県下でも同様に取り組んでいる。

年度末欠点保有者 3%以内。1・2年生 200人中6人前後にしたい。

年度末成績優秀者 40%以上。3年生も含めて目指している。

平日の授業以外で学習しない生徒の割合全学年 20%以下。現状 40%以上いる。

学校評価アンケート 80%以上肯定的な回答。

(取組内容)

学習支援員事業を活用し、定期テストで伸び悩んでいる生徒を対象に補習を行っている。

- ・小テストや課題により家庭学習習慣
- ・授業評価システム及び ICT 機器を活用した理解度
- ・各種資格、検定への補習

【社会性の育成】

- ・遅刻数の減少（学年末の遅刻数を生徒数以下）
- ・出席率の向上（全学年 99%以上）
- ・部活動加入率（運動部+文化部 80%以上）現在 79%
- ・学力定着把握検査アンケートで進路希望決定者の割合（3年 80%超、2年 70%超）
- ・県オリジナルアンケートの回答で全学年県平均以上

(取組内容)

- ・県教委各種事業の活用
- ・校種間交流事業（モノづくり教室・出前授業）
- ・各種ボランティア活動及び産業展への出展参加
- ・部活動への参加を啓発
- ・各種生徒研究発表会へ参加（本校の生徒研究発表会は近年コロナの為 DVD にして近隣中学校へ配布）
- ・キャリアノートの活用

エ 質疑応答 2

【委員】スタディサポートは行っていますか？

【学校】スタディサポートは行っていない。レベルが高く、国公立受験対策のもの。

【委員】校種間交流のものづくり教室や出前授業は先生が出向きますか？

【学校】生徒が子供や親子への対応する形です。

【委員】我が子もものづくりに参加させていただいたが生徒がとても良い対応だった。

【委員】家庭学習ができていないという話が度々出てくるが、分からない事は一人では分からない。だから先生に聞かなきゃいけない。一方、分からないことが判らないという生徒には、生徒同士で気付けることが多いのではないか。友人間の教えあいでつながりながら気づけることが自分にはあったと感じる。

【学校】貴重な意見をありがとうございます。

【委員】現在は LINE で聞ける環境がある。どうにかつながりながら進めてもらいたい。

【委員】生徒の研究発表会、1990年に幡多文学研究というものに当時の情報技術科の文集が見つかった「あかつき館」2階にて展示している。機会があれば見に来てください。

【委員】企業見学・学校見学とあったがいくつぐらい行くのか？

【学校】各科、各学年で行くのでまちまち、概ね1日行って2～3社。学校も大体対応してもらえるのが午前・午後で2校としたもの。

オ 「チーム学校・教職員が取り組む項目」(説明：中野校長)

(ア) 授業改善：学校評価アンケート肯定意見 90%以上等。

(イ) 生徒理解・生徒支援：昨年度は中途退学者・休学者も1名ずついたので0にしたい。学校

独自の学校生活アンケートも実施し、速やかな対応をしている。今年度はSSWも配置されている。

(ウ) 学校の振興：進路決定率 100%。資格の合格率 UP。特に国家資格についての奨励をしていきたい。補習を充実。

(エ) 産業教育の充実：進路決定率 100%。学校評価アンケート肯定意見 90%以上。国家試験取得率 80%以上。学校 PR 活動の実施。授業を研修や ICT によって充実させ、外部・専門人材の活用。

(オ) 働き方改革：教員についてのブラックのイメージ。本校にも月 45 時間超える先生はいる。どうしても部活動や産業教育にかかわるシーズン（繁忙期）的なものがある。部活動サポート事業などを活用していきたい（運動系 2・文科系 1 が現在活用中）。職員会資料のペーパーレス。教科の中身となる教材、教具の共有化。月 80 時間を 2 か月連続か月 100 時間があると産業医との面接を行わなければならないようになっている。

カ 質疑応答 3

【委員】学習支援事業は中学校では教科を指定して週 1 時間程度ですが…

【学校】本校でも教科ごとに国語・数学・英語に分かれて、英語のみ週 2 回、他週 1 回で行っています。

【委員】働き方改革、先生方に時短の申請などはありますか。

【学校】フレックスタイム制（始業・就業時間の変更）があります。

【委員】授業時間への対応はどうするのでしょうか？

【学校】職員は基本、長期休みにそのような対応をします。

【委員】私の勤務場所でもそのように対応しようとすると、その空いた時間を埋める職員を更に雇用しようとしてもどうしても難しいのでうらやましい。文化施設は土日に施設を開場する為、職員が土日に我が子と接する時間が取れず退職を希望する者や精神的に苦しくなる職員も出てしまう。本当に難しい問題。

【学校】職員も SC やサポート部でカウンセリングを受けることができます。

【学校】保護者の方もできます。

【委員】この協議会は開かれた学校づくりとの違いとして、社会の事について話ができたり、今の生徒がこうだという説明も聞いて新鮮です。

【学校】ほかになにかありますか

【委員】この会は年何回ありますか。

【学校】年 2 回あります。途中でご意見を頂くアンケート等もあるかと思われれます。

【委員】学校の PR になるかどうかわかりませんが、3 世代で宿毛工業に通ったとかいう話は無いか。そういった話があると話題性があるってアピールできるのでは？

【委員】働いている先生が我が子を入れている（自己紹介にて本校職員が実子を本校へ通学させていることを聞いている）と聞くと良い学校なんだなあと思います。

【学校】本校にはたくさんいます。

【委員】PR で言うと、具同で見ましたが、デジタルサイネージはやはり見たらはっとする。その他、子供の進路を考える際に大学等を調べていると Facebook などが見やすく私たちは情報源として活用する。

【学校】 SNS は有効だと考えています。

【委員】 Facebook 等大学や専門学校ではよく見ます。40 代以上は Facebook、10 代の若い子は TikTok かインスタグラムだと思います。

【委員】 ほかにどうしてもという方は？

【学校】 校則変更について聞いてもらいたい。本校でも 3 年前から校則改善（スラックス導入やネクタイ導入など）を行っている。時間のある時に校内規定集をご覧になっていただき、生徒・教職員だけでなく色々な立場でのご意見を頂きたいのでご協力ください。

【委員】 またがるタイプ（スポーツタイプ）のバイクが不可なのはなぜですか？

【学校】 スポーツタイプは操作が複雑、改造によりスピードが出やすい等の理由で認めていない。本当はまたがる方が安定する等の利点もあるのでご意見を頂きたい。

【委員】 バイクの免許取得は工業では 2 年からとなっている。他校では誕生日が来れば取れる学校がある。通学については、公共交通が不便であり部活動のしやすさもあると思うがなぜ 2 年からなのか。

【学校】 本校はそもそもバイク通学生が多く、そういったリスクの高い状況だからこそ段階を踏んだ指導を行いたいという方針です。が、そういったご意見をたくさん頂きながら時代にあっただものに変えるべき時には変えたいので、以後もぜひたくさんご意見を頂きたいです。

【委員】 以上で終わりたいと思います。意見が出るのかという不安があったが、たくさん意見が出て驚いた。ありがとうございました。

(7) 【次回についての説明】 (西山教頭)

(8) 【事務連絡】 (岡本事務長) : 学校運営協議会の委員報酬及び旅費について説明と支払い方法について。

(9) 【閉会】 (西山教頭) : 閉会を宣言